

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「正しく生きる」

立山町立立山北部小学校 6 学年
平成26年7月11日実施

【いのちの先生】

佐伯 知彦先生
・山岳ガイド

【授業の概要】

- 1 昔の立山登山について
- 2 閻魔庁について
- 3 八正道について
- 4 安全で楽しい立山登山について
- 5 立山登山の目当て

命の授業を受けて、学んだことは命の大切さです。そう思った理由は、人には一つしか命がないからです。自分の命だけでなく、他の人の命も大切にしていきたいと思いました。佐伯さんから八正道も学びました。その中で私が一番大切にしていきたいと思ったのは、正語です。意味は正しい言葉づかいを使うという意味で、言葉一つで、人は傷つくから気を付けたいと思いました。

私は、正しくという言葉にちょっと戸惑ってしまいました。なぜかというと、自分は正しく生きているか分からなかったからです。あと悪いことをすると、地獄に産まれ変わることは知っていたけど、他に5回産まれ変わることは初耳でした。正語で正しい言葉を使っていきたいです。



私は、うそやいじめなどを悪いことをせずに、これから正しく生きようと思いました。うそをつかずに八正道を思い出して地獄ではなく、天国にいけるようにしたいと思います。八正道で特に気をつけたいことは、正語と正業です。正しい言葉づかいをしっかりと相手に嫌な気持ちにさせないように、正しい行いをしっかりと行い、お願いされたことは忘れずにするようにしたいと思います。佐伯先生に教えてもらったことを忘れずに立山登山をしたいです。